



No.412 令和8年1月5日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 広瀬 安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話(3766)1711
株式会社 気生堂印刷所



一般社団法人
大田工業連合会
会長 広瀬 安宏

会員の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年2025年を振り返りますと、世界経済は依然として不安定な要素を多く含み、原

材料価格の高騰、エネルギー問題、そして深刻な人手不足といった課題など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。一方で、生成AIをはじめとするデジタル技術の社会実装

が急速に進展し、産業構造やビジネスモデルの変革が求められる転換点ともなった一年でした。

こうした激動の中、大田区のものづくり企業は、卓越した「匠の技」と、いかなる注文にも応える柔軟な対応力、そして「仲間回し」と言われる企業間の緊密な連携によって、これらの難局を乗り越えてきました。大田区には、

宙といった最先端分野に至るまで、産業を支える重要な役割を担っておりです。さて2026年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。「丙（ひのえ）」は、燃え盛る炎、草木が勢いよく成長し、繁栄する様子を表し、「午（うま）」は、その炎が最も盛んな時、生命力が旺盛で、活発に動く姿を象徴しています。この組み合わせは、これまでの努力が形となり、大きく飛躍する可能性を秘めた年です。

本年、大田工連は、この「丙午」の象徴する活力を最大限に感じて以下の事業をしていきたいと考えています。

「企業間交流を図り生産性向上と事業承継の推進」

深刻化する人手不足

に対応するため、企業間や大田区、公益財団法人大田区産業振興協会とも連携を図りIoTやAIを活用した生産現場の効率化を推進したいと思っています。またこれらを支援するセミナーや専門家紹介などを引き続き行います。さらに、持続的な成長のためには円滑な事業承継が不可欠です。青年部連絡協議会の活動を通じて後継者同士のネットワーク強化や次世代の育成を積極的

に展開してまいります。

「未来を担う人材育成と新たな価値創出に向けた連携の強化」

次世代のものづくりを支える若手技術者の育成や、女性が働ける労働環境整備は喫緊の課題です。また、会員企業の研究開発意欲の向上を図るために、「展示会などへの出店」などを通じた技術力のアップ、販路拡大支援を推進してまいります。

「地域との連携強化」

大田区は、高い技術力を持つ町工場に加え、羽田空港という日本の空の玄関口も擁する多様な魅力にあふれた地域です。区民の皆様にもものづくりの魅力を発信し、地域と共に「未来へ羽ばたく、笑顔のまち」を育んでまいります。

このような大田工連関係企業が持つ優れた技術力と、大田区の「地域力」を結集し、課題解決に繋げることで、大田区の地域経済の成長に貢献してまいります。本年が会員企業の皆様にとって、これまでの苦難を乗り越え「さらなる飛躍」を遂げ、新たなチャレンジへと踏み出し、実りある輝かしい一年となりますことを心より祈念申し上げます。

明けましておめでとうございます

一般社団法人 大田工業連合会会員団体



蒲田工業協会

会長 松浦 貴之
大田区南蒲田一〇二〇
☎〇三(三七三)八四一五

(二社)大森工場協会

会長 柳沢 重幸
大田区中央二一一一〇
☎〇三(三七七)四七四四

工和会協同組合

理事長 広瀬 安宏
大田区下丸子一六四
☎〇三(三七五)一三三四

都南工業給食協同組合

理事長 乙部 克己
大田区南六郷三一五一
☎〇三(三七三)七四五一

蒲田工業協同組合

理事長 望月 直人
大田区蒲田一二九八
☎〇三(三七三)七八二一

(一社)仲池上商工業振興会

代表理事 峯 滋
大田区仲池上一三二二
(株)自強輸送機内
☎〇三(三七五)五一八九

東京南シフトメタル工業会

会長 新井 紀彦
大田区東糀谷五一四一七
(株)武甲製作所内
☎〇三(三七四)〇〇〇九

東京都京浜島工業団地協同組合連合会

代表理事 佐々木 一博
大田区京浜島二一〇二
☎〇三(三七九)〇〇二一

城南島連合会

会長 中澤 勇一郎
大田区中央二一一一〇
☎〇三(六四一)二二三二



大田区長 鈴木 晶雅

新年明けましておめでとうございます。

大田工業連合会の皆様におかれましては、令和8年の良き新春を迎えられましたこと、謹んでお慶び申し上げます。

また旧年中は区の施策に多大なるご協力をいただき、御礼申し上げます。

さて昨年は、いわゆるトランプ関税による世界情勢の不透明感に

加え、一昨年から続く

エネルギー高騰による負担増や部材価格の高騰など、区内企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。皆様におかれましては、事業運営に大変なご苦勞を重ねてこられたことと思います。

一方で、高市政権の発足により、製造業をはじめとした産業分野への支援や経済対策の

検討が進められています。所信表明演説では、

物価高対策を最優先の課題と位置付け、中小企業・小規模事業者への支援として、自治体向けの重点支援地方交付金の拡充や給付付き税額減税を含む税制措置の制度設計に着手する考えが示されました。さらに昨年11月に

「強い経済」を実現する総合経済対策」が公表され、中小企業の賃上げ環境の整備や稼働力の強化、省力化投資の後押しなどが盛り込まれています。区

としても、国の動向を踏まえつつ、区内の状況を注視し、必要な対応を進めてまいります。

状況です。それらの影響もあり、エネルギー・資源価格の変動や気候変動に伴う自然災害の激甚化など、企業活動を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況にあります。

一方で、政府による賃上げ・投資促進策、生成AIやロボット活用による生産性向上の機運が高まるなど、次につながる前向きな動きも、着実に広がっております。

こうした厳しい環境下にもあっても、大田工業連合会会員企業の皆様は、優れた技術力と不断の努力をもって取引拡大や事業革新

す。

区では、新たな基本構想を実現するための施策等をまとめた「大田区基本計画・実施計画」を昨年3月に策定いたしました。この基本計画では、8年後のまちの姿として「心豊かに日々の生活を送れるまち」「機能的な都市づくりが進むまち」「デジタル技術を活用した利便性の高いまち」という、3つの具体的なビジョンを掲げました。策定にあたっては、広瀬会長をはじめ、皆様から貴重なご意見やご提案をいただき、素晴らしい計画となりました。引き続き皆

様と力を合わせながらこのビジョンを実現し、こども・若者から高齢の方まで、より多くの皆様に住み続けたいと思っていただけの大田区をつくってまいります。

昨年の区の具体的な取り組みといたしましては、製造業・運輸業・建設業の就業者を対象とした「ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業」を開始いたしました。当事業により、人材確保が

厳しい区内企業の採用力強化、さらに若年層の人材定着につながることを期待しております。

大田区は、ものづく

りを中心とした多くの

企業が集積することで「産業のまち」と呼ばれ、今日まで発展を続けてまいりました。その根底には、企業を支える「人」の力があると考えております。「仲間回し」と呼ばれる独自のネットワークにより、技術やアイデアが受け継がれ、それを生み出し、活かしていく「人」の力によって区内のものづくりは支えられてきました。

こうした考えのもと、地域の長期的な人材育成の一環として、昨年度から小学校5、6年の児童を対象に、「おおたの未来づくり」という独自教科を本格的にス

2025への出展及び台湾訪問は、単なる商談機会の創出にとどまらず、現地ニーズの掘りや将来的な協業の可能性を見出す、実りある国際展開への確かな一歩となりました。また、「超専門技術ミニ展示会」では、MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）との連携により、初の大阪での出張開催を実現し、地域を越えた企業間交流の一層の促進につながりました。

さて、本年2026年は丙午（ひのえうま）にあたります。「丙（ひのえ）」は、太陽が力強く昇り、万物が鮮やか

人材の育成・確保支援においては、採用力向上プログラム「人材への道」を展開し、ワークシoppや面談等により、積極的に企業の採用力を高める取り組みを実施しました。また、大田区優工場では10社を認定しました。優工場の拡大により、人材確保の促進や環境と調和したものづくりの実践がさらに進むことを期待しております。

海外取引支援では、不透明な国際情勢を踏まえつつ、ドイツ・台湾との関係により強固なものとしたしました。DOYTCOMPAMED

タートさせ、ものづく

りや地域産業の魅力を学ぶ機会を提供していきます。こうした経験が、未来のものづくりを担う人材の育成につながるものと考えております。

また、区内のものづくりの力はスポーツの分野でも確かな成果を上げています。

東京2020パラリンピックの車いすバスケットボール・ラグビーで使用された競技用車いすの開発に加え、本年2月に開催されるイタリアア冬季オリンピックに向けては、「下町ボブスレー」の挑戦が続いております。大田区のものづくり技術と選

に姿を現す様子を表し、明朗さ・発展・新たな才能の開花を象徴するとされます。「午（うま）」は、陽気が極まる時期にあたり、行動力や挑戦を後押しする力を持つと言われていま

す。丙午の年はまさに、「情熱をもって次のステージへ踏み出し、大きな飛躍を遂げる一年」とされております。

私ども大田区産業振興協会も、この力強い千支の気運にあやかり、これまでの取組をさらに発展させ、各事業をより実効性の高いものへと磨き上げ、大田区の産業が力強く成長し続けられるよう努めて

新年あけましておめでとうございます。

大田工業連合会の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また旧年中は、公益財団法人大田区産業振興協会の諸事業に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は、



公益財団法人大田区産業振興協会 理事長 川野 正博

円安の長期化や原材料

費の高止まりに加え、労働人口の減少に伴う人材不足が顕著化しており、中小企業を取り巻く状況は依然として厳しい局面が続いております。

世界経済に目を向けましても、ウクライナ情勢や中東地域の緊張、主要国の政策動向など、地政学リスクは未だ改善の兆しが見えにくい

状況です。それらの影響もあり、エネルギー・資源価格の変動や気候変動に伴う自然災害の激甚化など、企業活動を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況にあります。

一方で、政府による賃上げ・投資促進策、生成AIやロボット活用による生産性向上の機運が高まるなど、次につながる前向きな動きも、着実に広がっております。

こうした厳しい環境下にもあっても、大田工業連合会会員企業の皆様は、優れた技術力と不断の努力をもって取引拡大や事業革新

状況です。それらの影響もあり、エネルギー・資源価格の変動や気候変動に伴う自然災害の激甚化など、企業活動を取り巻く環境は依然として予断を許さない状況にあります。

手の皆様が、世界の舞台で活躍する姿を、これからも応援してまいります。

2026年は午年です。午は「前進」という意味を持ち、力強く駆け抜ける馬の姿は新たな挑戦の意欲を象徴しています。会員の皆様におかれましては、これまで培ってこられた技術力を存分に発揮され、さらなる飛躍を遂げられることを期待しております。

結びになりますが大田工業連合会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご繁栄を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

また、これからも、当協会は大田区とともに工業集積の維持・発展に向けた支援、技術革新・経営革新の支援、ものづくり人材の確保・育成支援等に鋭意取り組んでまいります。どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員企業の皆様のご繁栄、ご健勝をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、これからも、当協会は大田区とともに工業集積の維持・発展に向けた支援、技術革新・経営革新の支援、ものづくり人材の確保・育成支援等に鋭意取り組んでまいります。どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員企業の皆様のご繁栄、ご健勝をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、これからも、当協会は大田区とともに工業集積の維持・発展に向けた支援、技術革新・経営革新の支援、ものづくり人材の確保・育成支援等に鋭意取り組んでまいります。どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東京商工会議所大田支部
会長 浅井 隆



新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人大田工業連合会の皆様方におかれましては、

2026年の新春を清々しい気持ちで迎えのこととお慶び申し上げます。

はじめに昨年は、台風や地震などの頻発する大規模自然災害に見舞われました被災者・事業者の皆様

申し上げます。被災された皆様を含め、一日も早い復旧・復興を祈念申し上げます。

さて私は、深尾定男前会長の後任として、昨年11月より東京商工会議所大田支部第9代支部会長に就任いたしました。深尾前会長同様に引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

我が国経済の景況感を見ますと、中小企業

の業況は2023年5月をピークに一進一退を繰り返しながら緩やかに下降しています。

円安や物価高騰に加え、価格転嫁や賃上げ、人手不足、事業承継など、課題が山積しております。このようなかで、中小企業が持続的な賃上げや成長投資の原資を確保するには、「稼ぐ力の強化」が不可欠です。実際に賃上げの動きは広がっているものの、依然として約6割は防衛的な賃上げにとどまっております。原資の安定的な確保には至っておりません。また、社会のD

X化の進展や脱炭素社会を目指した動きへの対応など、全国の企業数の99・7%、雇用の約7割を占める中小企業や小規模事業者にとって、その経営における環境変化は急速で激しく、依然として厳しいと言わざるを得ません。

このような状況のもと東京商工会議所では昨年11月1日より、小林健会頭のもと、「変革と価値共創による日本経済の再出発」をスローガンに掲げ、第2期新体制がスタートいたしました。不確実性の時代においては、規模や業種・業態を超えた企業間

連携や民・官・学の連携強化、さらには地域間連携の推進など、新たな価値を共に生み出し、共に栄える価値共創のもと、事業に取り組んでいくことが重要です。

東京商工会議所大田支部でも「成長と分配の好循環」を実現し、持続可能な経済社会を築くべく、区内中小企業の「稼ぐ力の向上」に向けて、大田区をはじめ地域産業団体の皆様と協力して、経営改善へのチャレンジを伴走型で支援・サポートを行っております。本年も会員企業の皆様や区内中小企業の皆様の声に基

づき、産業振興や経営支援、地域の発展を目指した活動を展開してまいります。

具体的には、経営指導員による経営に関する相談対応をはじめ、国の小規模事業者向け融資制度「マル経融資」（小規模事業者経営改善資金）による資金繰り支援、経営課題に対する専門家の派遣など、個別の中小企業に対する経営相談や、ビジネスチャンスの拡大に向けた機会創出を目的とした交流会、中小企業のデジタル化等による生産性向上、事業再構築、事業承継・引継ぎ、創業支援や、川崎商工

会議所と連携し人材確保支援事業や事業承継支援の一環としての婚活事業などを推進してまいります。

日本経済の礎を築き、一万円札の肖像でもある渋沢栄一翁は、1878年3月12日に東京商工会議所を創立し、初代会頭に就任されました。「民の繁栄が、国の繁栄につながる」―――渋沢翁のこの信念は、今も商工会議所活動の原点であり、揺るぎない真理です。「逆境の時こそ、力を尽くす」の精神を持ち、私たち企業こそがこの国の未来を支えるという志のもと、大田

区から日本を元気にできるような会員企業の皆様をはじめ区内企業の皆様とともに歩みを進め、未来への飛躍につなげてまいります。

結びに、貴会のみならずのご発展ならびに皆様方のご健勝を祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



大田区産業経済部
部長 青木 毅



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人大田工業連合会の皆様におかれましては、新しい年を健やかにお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。また、平素より区の産業政策に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は新内閣が発足したことに伴い、

世界的な貿易環境を大きく変え、直接的に製造業やサプライチェーンに影響を及ぼすため、より一層の注視が必要と考えております。

このように、現状はVUCA（ブリカ）と言われる非常に変化の著しい時代です。新年を迎え、新たな経済環境に対応し区内ものづくり産業が維持・発展するよう、区内企業のさらなる躍進に向けて、国の取り組みとの連携を図りつつ産業施策を強化していくかなければならないと日々感じていると

ころです。

また、労働力人口が減少する中で、企業において最も深刻な課題ともいえる人材育成・人材確保につきましても、より一層力を入れております。特に、次世代を担う20、30代の若手人材の獲得に注力しており、令和7年度からは「ものづくり等人材確保のための奨学金返還支援事業」の申請受付を開始しました。本事業は、大田区在住の40歳未満の方が、区内中小製造業・運輸業・建設業に新たに就職した場合に、奨学金返還額の半額を最長5年間

助成する事業です。当事業により、人材確保が厳しい区内企業の就業条件を向上させ、採用力強化につなげていきたいと考えております。また、若年層の離職率が高止まりする中、5年に渡って補助を行うことで、就業早期の離職を防ぐ効果も期待しておりますので、採用活動に向けて積極的に取り組んでいただきたいと思います。

さらに、昨年には新たに「産業のまち未来基金」を創設いたしました。この基金を有効に活用し、皆様の企業が、この新しい時代に、積極的にチャ

レンジでできる産業環境をつくってまいりたいと考えております。区民の皆様、企業の皆様からのご寄附をいただいた暁には、区内産業支援に向けて効果的に活用させていただきます。

AIが進歩し、社会のデジタル化・DX化も日々新たな展開が喧伝されているなか、私は、こういう時代だからこそ「リアルなものづくり」の重要性・稀少性が増してくるのではと考えています。もちろんAIもデジタルもDXにも対応することは重要です。無視することは

できません。区でもデジタル化等の支援は継続してまいります。しかし、革新は伝統を継承する中からしか生まれないものです。みなさまが営々と築かれてきた大田区のものづくりの伝統は、新たな技術を纏うことで、また、新たな分野とつながることでも「ものづくりの革新」を生み出すものと私は確信しております。

2026年は「午（うま）年」にあたります。「午」は特にその「スピード」や「勢い」が特徴であり、この一年が大田区の産業にとってもまさに飛躍



大田区商店街連合会
会長 相川 英昭

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本紙2026年新年号にあたり、昨年の歩みをふり返りつつ、一言ご挨拶申し上げます。

ここ数年の世界の動きを見ますと、コロナ禍からの回復が進む一方で、成長の勢いは力強さを欠いた状態が続いております。国連の報告などによれば、近年の世界の成長率はコロナ前の平均を下回る水準にとどまり、貿易の伸び悩みや地

的なインフレ率はピークから低下しつつあるものの、生活必需品やサービスの価格水準はなお高く、多くの国・地域で「低成長・高コスト」の環境が続いていることも明らかにされています。

我が国に目を転じますと、2024年の春闘では、平均5%を超える賃上げが実現し、約30年ぶりの高い水準となりました。一方で、物価上昇の影響は根強く、実質賃金はなお伸び悩み、中小事業者にとっては人件費や仕入コストの上昇と価格転嫁やサービス水準の維持をいかに両立させるかが大きな課題となっております。



大田工業連合会青年部連絡協議会
委員長 奥山 隆行

新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

平素より大田工業連合会青年部連絡協議会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年の製造業を取り巻く環境は、私たち若い世代にとっても大きな転換期となりました。

AIやロボティクスをはじめとするデジタル技術

ます。

そのような厳しい環境下にあるながら、明るい材料として挙げられるのがインバウンド需要です。2024年の訪日外国人旅行者数は3687万人と過去最高を更新し、その消費額も8兆円超と記録的な水準に達しました。2025年も高い水準で来訪が続いており、観光が日本経済にとって以前にも増して重要な役割を果たしつつあることがうかがわれます。

こうした世界・日本の流れを踏まえ、私たちの地域の商店街は、「コスト増と人口減少の時代」にある一方で、観光や地域消費の動きをうまく取り込みながら、地域ならではの付加価値を少しずつ高めていく視点が、以前にも増して大切になってきているように感じられます。単に値下げや販促に頼るのではなく、地域ならではの強みを組み合わせ、選ばれ続ける

るまちをつくっていくことが求められております。

その一つの方向性として、「商観工連携」が挙げられます。商店街の店舗（商）、宿泊・旅行・文化施設などの観光関連事業者（観）、そして当エリアに数多く立地する製造業・ものづくり企業（工）といった関係者が、それぞれの強みを持ち寄りながら連携の可能性を探っていくことで、地域全体としての魅力と付加価値を高めていくのではないかと考えております。

分野横断の企画やコンテツなど、単独では生み出せない取組こそが、これからの時代に選ばれる地域の力になっていくものと期待しております。

特に羽田空港を玄関口とする当エリアは、世界中からの訪日客と、ここで暮らす住民の日常が交わる、全国的に見ても希少な地域です。記録的なインバウンドの流れが、単なる一過性の

需要で終わるのか、それとも地元の商店街や事業者の持続的な成長につながるのか。その分かれ目は、私たちが地域としてどれだけ準備を整え、「立ち寄ってもらえる理由」と「もう一度来たくなる体験」をつくり出せるにかかっています。

当連合会としても、多言語での情報発信やキャッシュレス環境の整備、体験型プログラムの検討などを通じ、インバウンドのお客さまを地域全体で受け止める体制づくりに努めてまいります。

そして、こうした商観工連携やインバウンドの取り組みを具体的なカタチにしていける原動力となるのが、地域の「若手経営者」の皆さんです。昨年も、若手経営者によるイベント企画やSNSを活用した情報発信など、新しい感性とデジタル技術を生かした取り組みが各商店街で広がっています。変化のスピー

材料の確保が難しさを増す一方、熟練者の退職が進むことで技能継承の課題が顕在化した一年となりました。

しかし、このような状況だからこそ、私たちの存在意義は一層高まっていると感じております。柔軟な発想や新しい技術への吸収力、そして横のつながりを生かした連携こそが、次代の大田のものづくりを支える大きな力になると確信しています。当青年部におきましては、会員企業の皆様と連携し、各種イベント等の運営を通じた組織運営能力の向上、所属団体を超えた経営者の連携の強化・親睦を図り、仕事回しを強みとする大田の工業基盤の強化に

積極的に取り組んでまいりました。3月に開催しました大田区の「町工場バンド」が出演する音楽イベント「THE PARTY 2025」では、600名を超える来場者を記録し、24回目となるこのイベント過去最高規模の来場者となりました。

6月には東京都立六郷工科高等学校の生徒269名が参加し、経営者や現場のリアルな声を聞き、企業紹介&商品展示を通じ地元大田区の企業を知ってもらう展示会「マッチングセッションOTA2025」を開催し、過去最高となる26社が出展しました。

11月に行いました工業見学会では、「産業のまち」といわれる中小企業（製造業）が集積する大田区をはじめとした21の自治体で構成されている「産業のまちネットワーク推進協議会」と連携し、福島県いわき市を訪問しました。いわき市を代表する2社の工場見学、「いわき金属工業協同組合青年部」との交流会を開催し、地域間企業ネットワークの推進を図ることができました。

2026年当青年部は、設立60周年という大きな節目を迎えます。昭和41年の発足以来、幾多の時代の変化を乗り越えながら歩んできた長い歴史は、まさに先輩方が情熱と努力をもって築き上げてこられた揺るぎない精神の積み重ねによる

ドが増す時代にあって、次の10年の地域を形づくるのは、まさにこうした若い力であり、当連合会としても青年部をはじめとする若手の挑戦を、制度面・情報面の両面からしっかりと後押ししていきたいと考えております。

本年も、世界・日本の大きな流れを的確に捉えつつ、商観工連携による新たな価値づくりと、羽田空港に近いという地の利を生かしたインバウンドの取り込み、そして若手経営者の活躍機会の拡大を三本柱として、地域の商店街が「選ばれるまち」として輝き続けられるよう、連合会一同力を尽くしてまいります。引き続き、会員の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆さまのご健勝とご繁栄を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

専門的なセミナーを多数実施しています（年間500コースほど実施）

油圧システムの保全技術

マシニングセンタ技術者育成講座

鉄鋼材料の熱処理技術（表面硬化編）

表面粗さと形状偏差の精密測定技術

など

高度ポリテクセンター
公式Webサイトは
こちらから！

学びたい方は、高度ポリテクセンターへ！



高度ポリテク 検索

<https://www.apc.jeed.go.jp>



スマホなら
アクセス
かんたん！

高度ポリテクセンター
ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

2025 新入社員フォローアップ研修 2年目に向け、気持ちを新たに



アイング(株) 開発の「Gリーグ」ゲームでコミュニケーションを学ぶ

大田工業連合会と大田区は11月14日、「2025年度新入社員 フォローアップ研修」を開催した。同セミナーは5月に行った新入社員セミナーの振り返りを行うもの。参加者は半年間の体験や自身の成長を話し合い、チーム力やコミュニケーションスキルの強化を図った。

会場は京急空港線天空橋駅直結の「羽田イノベーションシティ」内にあるPiOPARK。講師は研修事業や人材派遣を手がけるアイング株式会社の猪田美奈子氏。参加したのは、旭産業(株)、(株)池田車框製作所、(株)上島熱処理工業、(株)三栄精機工業、シンレキ工業(株)、(株)

セライズ、千蔵工業(株)、東京鉄鋼工業協同組合の新入社員、合計8名だ。

はじめに「入社後半年間」の振り返りを行った。各自は入社後に体験したこと、会社の雰囲気への率直な感想などを語り合った。「街で自社の製品を見るとやりがいを感じる」など前向きな意見が出ていた。

半年間の「モチベーションの変化」を時系列で追う発表では、「不良品を出してしまいモチベーションが下がった」「5月にボーナスをもらえて嬉しかった」「高校生向けのイベントの準備が忙しかった」など声が上がった。猪田氏は「失敗もあったと思

うが、仕事に慣れれば難しくない。まもなく2年目になり後輩も入社してくるので、しっかり学び直してほしい」と声をかけた。

言葉づかいの練習やコミュニケーションスキルを強化するためのコミュニケーションでは、間違った言葉づかいの文例を直す授業を行った。猪田先生は「『のほう』などの余計な言葉を使わない」「恐れ入ります」というクッション言葉を使う」など、実践的なテクニックを教示した。

電話でのコミュニケーションレッスンでは、二人一組となり、電話でのやりとりを練習した。現代の若者は、メールやメッセージアプリの普及により、電話でのやりとりが減少傾向にある。職場でもその傾向は変わらないが、それでも情報伝達の内容によって電話を使う方が適切な場面は珍しくない。猪田先生は「私も新入社員の時電話を取るのが嫌だったが、今ではレクチャーできるくらいになった。慣れが肝心なので頑張って電話に出てほしい」と若者たちを励ました。

その後は、相手の心に訴えるコミュニケーションの重要性や、効果的な質問方法などについてレクチャーした後、話す内容の全体像を伝えた上で話の各部分を説明し最後に結論を説明する「ホールパート法」結論から理由、具体例、結論の組み立てで話す「PREP法」といった話法のロー

ルプレイを行った。

研修で得たコミュニケーションスキルを活かすため、「Gリーグ」と称したカードゲームを行った。同ゲームは、メンバーがそれぞれ異なる7枚のカードの内容を他のメンバーに口頭で伝え合い、その情報をもとに架空のサッカーチームの順位や選手・監督の名前を当てるゲームだ。各自に与えられた情報を集めて答えを推理するが、その過程で情報の説明や整理、記録の仕方の精度が問われる。正解に至らないチームもあり、中々に苦戦していた。

最後は「2年目の自分」というテーマで発表を行った。「先輩の手下になり、不安にならないようサポートする」「基本的な質問に答えられる存在になる」「他者の意見を尊重できる人間になりたい」。それぞれ目標を語る参加者たちを、猪田先生は頼もしそうに見つめていた。



電話のやりとりについてをおさらいレッスン

国の融資制度「マル経融資」をご存知ですか？

マル経融資は、商工会議所の推薦にもとづく、日本政策金融公庫の**無担保・保証人不要(信用保証協会の保証も不要)**の融資制度です。

【限度額】2,000万円 **【利率】2.10%**
(2025年12月1日現在)

【融資対象】従業員20人以下
(宿泊業、娯楽業を除く商業・サービス業5人以下)の法人・個人
【使途】事業資金(運転・設備資金)
【返済期間】運転10年以内・設備10年以内
◆審査の結果、ご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

※大田区より当初3年間、支払い利息の40%が補助されます。
※融資利率は金融情勢により変わる事があります。
※日本政策金融公庫での融資決定時の利率が適用されます。

経営上でお悩みの時
窓口専門相談をご利用ください
《予約制・無料》
・法律相談・税務相談・労務相談・金融相談
※本相談は、経営に関する相談に限定しております。

※会員非会員を問わずご利用いただけます。
※この融資限度額及び返済期間の取扱いとは2026年3月31日
日本政策金融公庫受付分までとなります。
※最新の利率については大田支部までお問い合わせ下さい。

東京商工会議所 大田支部
☎ 3734-1621 大田区南蒲田1-20-20(大田区産業プラザ5階)



明けましておめでとうございます

一般社団法人 大田工業連合会有志

(五十音順)



| | | | |
|--|--|--|---|
| 有坂弁栓工業株式会社 代表取締役社長 有坂知則 〒144-0056 大田区西六郷4-7-7 TEL 03-3732-8825 FAX 03-3732-8826 | 『ボールねじ製造・販売』『精密加工』 株式会社 伊和起ゲージ 代表取締役 広瀬安宏 〒146-0083 東京都大田区千鳥2-28-18 TEL 03-3758-1721 FAX 03-3759-1691 E-mail info@iwaki-gauge.co.jp URL https://www.iwaki-gauge.co.jp | 金属上の精密めっき 株式会社 池田車框製作所 代表取締役 池田絵理子 〒143-0003 大田区京浜島2-2-5 TEL 03-3790-2222 FAX 03-3799-3399 | 鉄・ステンレスのオーダー金物 既製品に無い形、寸法で 1ヶより承けたまわります ウヌマ株式会社 代表取締役 鵜沼昌英 〒144-0032 大田区北糺谷1-2-7 TEL 03-3745-3939 FAX 03-3742-4101 |
| めっきメーカーからサーフェスクリエーターへ EBINAX 株式会社 代表取締役社長 海老名伸哉 〒144-0033 大田区東糺谷5-22-13 TEL 03-3742-0107 FAX 03-3745-5476 E-mail ebina-s@ebinax.com URL http://www.ebinax.com | ものづくりの町医者 検査・リバースエンジニアリング 栄商金属株式会社 代表取締役 佐山行宏 大田区下丸子1-17-18 EものづくりLAB TEL 03-3732-1207 FAX 03-3759-1255 URL https://www.eisyo.co.jp | 構築と革新、更なる挑戦 オオ サキ 大肯精密株式会社 代表取締役社長 大崎和夫 〒146-0081 大田区仲池上 2-19-6 ☎ 03-3755-3311 Fax 03-3755-1918 URL http://www.osaki-precision.co.jp | 岡田钣金株式会社 相談役 増田道造 本社 東京都大田区新蒲田1-22-18 〒144-0054 TEL 03-3734-7101 茨城工場 茨城県小美玉市三箇207-1 〒319-0104 TEL 0299-48-2901 |
| 精密板金のあらゆるニーズにお応えする 電子機器の新製品開発から量産まで 株式会社 金森製作所 代表取締役会長 金森 茂 代表取締役社長 金森忠明 〒143-0013 大田区大森南2-8-16 TEL 03-3741-3231 FAX 03-3741-3279 E-mail km-info@kanamori-gr.co.jp URL http://www.kanamori-gr.co.jp | 株式会社 川辺製作所 代表取締役 大良真一 〒146-0093 大田区矢口1-20-19 TEL 03-3757-1731 FAX 03-3756-2115 | 桂川電機株式会社 代表取締役社長 渡邊正禮 〒146-8585 大田区下丸子4-21-1 TEL 03-3758-2222 FAX 03-3757-3451 E-mail kta-hisho@kiphq.co.jp | 日本工業規格表示認証工場 Nadcap認証工場 JIS Q 9100/JIS Q 9001 ISO 14001認証工場 カミジマ 株式会社 上島熱処理工業所 代表取締役社長 上島 健 〒146-0081 大田区仲池上2-23-13 TEL 03-3753-7788(代) FAX 03-3751-5684 E-mail info@kamijima.co.jp URL http://www.kamijima.co.jp/ |
| 株式会社 カワイ化工 代表取締役社長 川合 彰 〒143-0003 大田区京浜島2-3-2 TEL 03-3790-8121 FAX 03-3790-8128 | 株式会社 かんぽ生命保険 南東京法人支店 支店長 菅原隆彦 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-29 ガーデングレイス品川御殿山2階 ☎TEL: 03-5422-7654 FAX: 03-5422-8329 | ヘラ絞り 株式会社 北嶋絞製作所 代表取締役 富永 聡 〒143-0003 大田区京浜島2-3-10 TEL 03-3790-2300 FAX 03-3790-3044 E-mail info@kitajimashibori.co.jp URL http://www.kitajimashibori.co.jp | Shinkumi Bank 信用組合 あなたの街のパートナー しんくみ 共立信用組合 理事長 鈴木孝一 〒143-0015 大田区大森西1-7-2 TEL 03-3762-7777 FAX 03-3761-4515 URL http://www.kyouritsu.shinkumi.co.jp/ |
| 株式会社 倉本計器精工所 代表取締役 倉本一宏 〒146-0095 大田区多摩川2-5-13 TEL 03-3759-0311 FAX 03-3758-0311 | ものづくりERP生産管理システム777 ケンユウテクノ株式会社 代表取締役 山口謙治 URL http://www.kenyou.co.jp/ 〒146-0094 大田区東矢口3-8-2 TEL 03-5713-1511 FAX 03-5713-1512 | 「アルミの溶接お任せください」 株式会社 小池製作所 代表取締役社長 小池雄太 〒144-0056 大田区西六郷 4-12-9 TEL 03-3731-9953 FAX 03-3735-1890 URL https://koikeseisakusyo.co.jp | スピнкаシメ機の開発・製造・販売 株式会社弘機商会 代表取締役 高原隆一 〒144-0052 大田区蒲田1-24-6 TEL 03-3732-5461 FAX 03-3732-5464 URL https://kokiriveting.com |
| 小松ばね工業株式会社 代表取締役 小松万希子 〒143-0013 大田区大森南5-3-18 TEL 03-3743-0231 FAX 03-3743-0235 E-mail soumubu@komatsubane.com URL https://www.komatsubane.com | 製缶・溶接・研磨・電解研磨 株式会社 酒井ステンレス 代表取締役 宮田麻吏 大田区京浜島2-21-1 TEL 03-3790-0333(代) FAX 03-3790-0335 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字上狐山20-1 TEL 0248-53-3848 FAX 0248-53-3887 URL http://www.sakai-st.co.jp | 産業用LED照明器具製造販売 嵯峨電機工業株式会社 代表取締役社長 尾曾秀幸 〒145-0076 大田区田園調布南10-5 TEL 03-3759-8261 FAX 03-3756-2131 URL http://www.sagaden.co.jp | 夢と未来のサポーター さわやか信用金庫 まごろん まめたん 〈本部〉 〒144-0047 大田区萩中2-2-1 TEL 03-3742-0615 |


その仕事、シルバーにお任せください

◆事務（データ入力、経理、受付、電話対応、書類のファイリングなど）

◆製品梱包、組立、検査、発送 ◆社員食堂での調理補助 など

※短期の仕事についてもお気軽にお問合せください

ご注文・お問い合わせは電話かホームページから


 **0120-200-027**

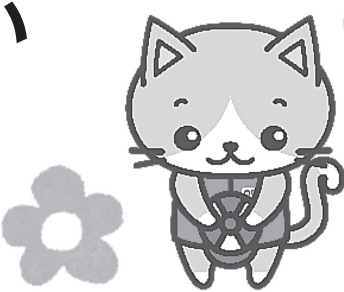
公益社団法人 **大田区シルバー人材センター**

受付 / **8:30 ~ 17:15**（土日・祝祭日・年末年始を除く）

大田区シルバー人材センター

検索 <https://www.ota-sjc.or.jp/>





センター PR キャラクター「シルにゃん」®

猫の手も借りたい
そんな時は
ご相談ください！

広告掲載の募集！

こちらの広告を掲載頂ける企業様を募集しております。

広告掲載料

・A3用紙大に(縦6cm×横4cm)サイズで掲載の場合1回3,500円～

※金額はサイズにより異なりますのでお問合せください。

お申込・問合せ先

大田工業連合会 TEL03-3737-0797



お客様応援企業をめざす

**城南信用金庫**


Cinnamoroll

©2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.L

物流をトータルサポート
(物流代行・EC支援・トランクルーム・販売代行)

醍醐倉庫株式会社

代表取締役社長 醍醐正明

〒146-0081 大田区仲池上1-30-3
TEL 03-3752-8888 FAX 03-3574-4633

**アスカラ**
ASUKARA



「スピードと品質の金型・設計・製作会社」

株式会社タムラエジア

代表取締役 田村波音

〒144-0033 大田区東糀谷6-4-17
OTAテクノCORE101
TEL 03-5735-3501 FAX 03-5735-3502
URL <http://www.tamuraejer.com>
E-mail info@tamuraejer.com

株式会社 昭和製作所

取締役会長 舟久保利明
代表取締役社長 舟久保利和

〒143-0015 大田区大森西2-17-8
TEL 03-3764-1621 FAX 03-3764-1626
E-mail showa@showa-ss.jp
URL <https://showa-ss.jp>

株式会社 整電社

代表取締役 鈴木さと美
代表取締役 長瀬 光徳

〒144-0056 大田区西六郷1-12-1
TEL 03-3733-9611 FAX 03-3733-9614
URL <https://seiden-sha.co.jp>

切削工具メーカー

大洋ツール 株式会社

代表取締役 高萩俊夫

〒146-0081 大田区仲池上1-26-13
TEL 03-3752-3221 FAX 03-3755-0703
E-mail taiyo@taiyo-tool.co.jp
URL <http://www.taiyo-tool.co.jp/>

省資源・環境保全時代に貢献する「溶射技術」

東京メタリコン株式会社

代表取締役 関 直孝

〒143-0003 大田区京浜島2-18-13
TEL 03-3790-0201 FAX 03-3790-4359
E-mail seki-naotaka@tokyometallikon.co.jp
URL <http://www.tokyometallikon.co.jp>

油圧配管継手の専門メーカー

トキワ精機株式会社

代表取締役 木村洋一

〒143-0012 東京都大田区大森東2-14-12
TEL 03-3762-5511 FAX 03-3763-9144
URL <https://tokiwaseiki.net/>

配電制御システムのエキスパート

日本電機株式会社

代表取締役社長 倉持康壽

〒146-0093 大田区矢口3-2-1
TEL 03-3758-1121 FAX 03-3759-6485
E-mail ndctyo@n-denki.co.jp
URL <http://www.n-denki.co.jp>

有限会社 早崎製作所

代表取締役 早崎吉春

〒143-0013 大田区大森南5-3-16
TEL 03-3744-0971 FAX 03-3744-0972

パイプ曲げ加工は、お任せください！！

株式会社 平川製作所

代表取締役 柳沢重幸

〒143-0015 大田区大森西2-17-14
TEL 03-3764-1388 FAX 03-3768-1939
E-mail s-yanagi@hirakawa-ss.co.jp
URL <http://www.hirakawa-ss.co.jp/>

マシニング加工(アルミ、銅)

有限会社 平林製作所

代表取締役社長 平林孝博

〒143-0012 大田区大森東2-26-25
TEL 03-3761-1150 FAX 03-3761-1029

**株式会社 福井製作所**

代表取締役 福井 晃
代表取締役 福井賢治

〒140-0013 品川区南大井5-20-5
TEL 03-3761-3121(代) FAX 03-3761-3122
URL <http://www.fukui-ss.co.jp>

有限会社 富士精機製作所

代表取締役 荻野 拓昭

〒143-0013 大田区大森南3-10-6
TEL 03-3744-4811 FAX 03-3744-4813
E-mail fujiseiki-ogi@coda.ocn.ne.jp
URL <http://www.fujiseiki-tokyo.com>

富士ダイス株式会社

代表取締役社長 春田善和

〒146-0092 大田区下丸子2-17-10
TEL 03-3759-7181 FAX 03-3756-0290

成形～めっきまでプラスチック一貫生産

平和工業株式会社

代表取締役 内藤喜達

〒143-0003 大田区京浜島2-2-4
TEL 03-3790-1031 FAX 03-3790-2828
E-mail info@heiwakogyo.com
URL <http://www.heiwakogyo.com>

精密送りねじ・超精密スピンドル加工

宮城精工株式会社

代表取締役 菊地勝昭

〒146-0083 大田区千鳥2-26-7
TEL 03-3750-8875 FAX 03-3750-7286
E-mail k-kikuchi@miyagi-seiko.co.jp
URL <http://www.miyagi-seiko.co.jp>

MUSO 試験片・試験治具

ムソー工業株式会社

代表取締役 尾針徹治

〒143-0003 大田区京浜島2-13-9
TEL 03-3790-0666 FAX 03-3790-0668
E-mail musoiindustry@clock.ocn.ne.jp

**Mochizuki Painting Lab.**
Painting the world happy
～世の中を幸せ色に塗る～

有限会社 望月塗工研究所

代表取締役 望月直人

E-mail : mochizuki7010@amethyst.bforth.com
〒143-0014 東京都大田区大森中3丁目20番21号
TEL 03-3761-0404 FAX 03-3761-0417
URL <http://www.mochizuki-tokou.com>

工作機械鋳物・金型用鋳物

森田鑄工株式会社

代表取締役社長 森田政男

〒143-0003 大田区京浜島2-19-1
TEL 03-3790-2131 FAX 03-3790-2134
ISO9001／JISG5502
URL <http://www.ca-morita.co.jp/>

ものづくりのコーディネータ

有限会社 安久工機

代表取締役社長 田中 宙

〒146-0092 大田区下丸子2-25-4
TEL 03-3758-3727 FAX 03-3756-1250
E-mail contact@yasuhisa.co.jp
URL <http://www.yasuhisa.co.jp>

有限会社 山田製作所
〔自動制御盤 設計・製作〕

代表取締役 山田 修

〒145-0064 大田区上池台5-34-12
TEL 03-3729-5191 FAX 03-3726-5460
E-mail info@yamada-ss.jp
URL <https://www.yamada-ss.jp/>

理化工業株式会社

代表取締役社長 保知輝英

本社 〒146-8515 大田区久が原5-16-6
TEL 03-3755-8001 FAX 03-3755-7800

明けましておめでとうございます

一般社団法人 大田工業連合会賛助会員

大東京
田商工
支会議
部所

城南
信用
金庫

大商
森工
支組
店合
庫中央
金庫

東さわ
糀やか
谷か
支信用
店金庫

下さわ
丸子やか
子信用
支金庫
店

さわ
やか
信用
金庫

株式
会社
くら
しの
友

蒲きら
田ら
支ぼ
店し
行銀
行

共立
信用
組合

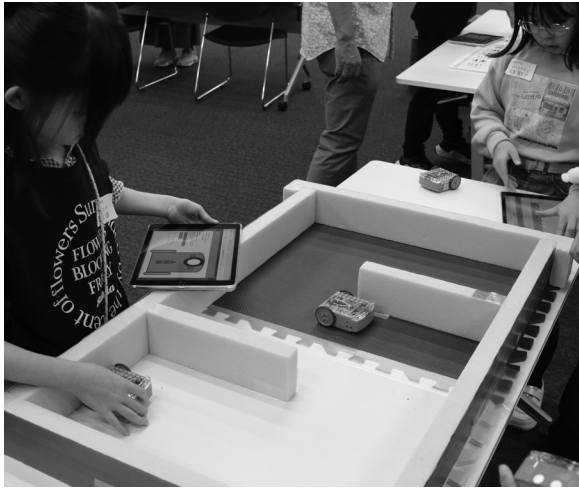
南かん
東ん
京ぼ
法生
人命
支保
店陰

2025

ロボットプログラミング教室開催



エジソンについて説明する原田講師



S字コースを突破していく子供たち



iPad の上にエジソンを乗せて、プログラムを転送

大田工業連合会と大田区産業経済部産業振興課は11月16日、京急空港線天空橋駅直結の「羽田イノベーションシティ」内にあるP i O P A R Kで「ロボットプログラミング教室」を開催した。講師は株式会社ビートランスの原田洋一社長。教室は午前と午後に行われ、小学3年から中学1年生まで、合計29名が参加した。

教材として使ったのは、オーストラリアのマイクログリッド社が発売する教育用プログラミングカー「エジソン」。前方が婉曲したスクエアなデザインで、後部にタイヤが二つ付いている。音センサーや赤外線センサーなど複数のセンサーが搭載されており、プログラムに従い前進、回転、後進が可能だ。原田先生の説明を聞き、子供たちは手を叩く音でエジソンを動かしてみた。一度手を叩くと曲がり、二回叩くと前進する。子供たちがあちこちで手を叩くと、エジソンはちよこちよこと動き回った。

続いて、エジソンに搭載されている赤外線センサーについて実験した。エジソンは2つの赤外線LEDによって光を当て、その跳ね返りを赤外線センサーで検知している。それを使い、色による光の反射率の違いを知る実験などを行った。また、子供たちは紙に黒い線で描かれたコースの上にエジソンを置き、明暗を検知するセンサーを使ってエジソンを黒い線に沿って走らせた。

最後は、子供たちが自分でプログラミングをして、S字型のコースを走らせるテストが行われた。子供たちは、ブロックのようにビジュアルイメージ化されたプログラムをiPadで入力。iPadの上にエジソンを置き、プログラムを転送した。エジソンをコースで走らせるも、最初はなかなか上手くいかない。直進する時間（距離）、旋回するタイミングを調整していった。「ロボットの生きているような動きは全てプログラムによって行われる」と原田先生。トライアンドエラーを繰り返して、子供たちは順番にコースをクリアしていった。

小学6年生の佐久間光啓さんは、「学校でもプログラミングの授業があり、もともと好きだったので参加した」と語った。初参加した小学3年生の赤松美音さんは「プログラミングはそんなに難しくなかったけれど、テストでは他の車とぶつかってあちこち行ってしまった。次回も参加したい」と目を輝かせた。

令和7年度

東京工業団体連合会会長表彰受賞者

【 従 業 員 表 彰 】

土井 実

勤続 21 年

株式会社昭和製作所
(一社)大森工場協会

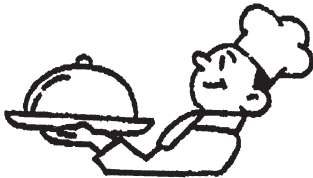
※表彰基準日 令和8年3月31日

HACCPを導入した最新設備の工場から
今日も満足していただけるメニューをお届けします。

- ◎職場弁当・各種行事弁当
◎幼稚園弁当
- ◎学校給食の受託、運営
◎リユースカップの洗浄業務
◎ご注文に応じて対応いたします。

★昭和37年大田工業連合会の有志によって
設立された皆様の  です。


のお料理



HACCP認定工場
都南工業給食協同組合
〒144-0045 大田区南六郷3-15-1
TEL 3732-7451(代表) FAX 3735-8376